

地球環境保全活動

地域の海岸・河川、道路、公園等の
清掃活動を行っています。

2020年度は15代協で計23回、
438名が参加

清掃活動



山口県代協
ツルのねぐら一斉整備
(2020年10月3日)



宮城県代協
七北田川清掃活動
(2020年10月17日)



山口県代協
しものせき美化美化(びかびか)活動
(2020年10月31日)



高知県代協
相生公園清掃
(2020年11月1日)



福島県代協
原ノ町駅前通り清掃活動
(2020年11月28日)

概要

■設立

昭和23年設立、昭和39年大蔵省より社団法人の認可取得、平成25年内閣総理大臣の認可を得て一般社団法人へ移行

■目的

都道府県損害保険代理業協会を会員とする団体で、次を目的としています。

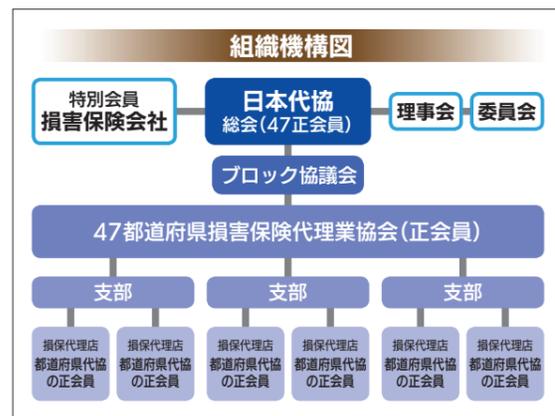
- ・損害保険の普及と保険契約者及び一般消費者の利益保護
- ・損害保険代理店の資質向上
- ・損害保険事業の健全な発展への寄与
- ・幅広く社会に貢献するための活動

■組織

本部と47都道府県損害保険代理業協会から構成されています。

■代協会員(代理店)数

11,344店(2021年3月末現在)



一般社団法人
日本損害保険代理業協会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル321区
TEL : 03-3201-2745 FAX : 03-3201-4639
URL : <https://www.nihondaikyo.or.jp/>



(2021.6発行 29,000)

2021年度版



日本代協は、 今こんな活動をしています!!

損害保険の普及と消費者・保険契約者の利益を守るために、
損害保険代理店及び募集人の資質向上に努めています。



日本代協ホームページ
<https://www.nihondaikyo.or.jp/>

日本代協 検索



一般社団法人
日本損害保険代理業協会(日本代協)

（代理店及び募集人の資質向上に向けた教育・研修活動）

（消費者・保険契約者の利益を守るための調査・研究・及び提言活動）



損害保険大学課程 教育プログラムの運営



損害保険トータルプランナー認定バッジ

一般社団法人日本損害保険協会（損保協会）は、損保協会の「損害保険代理店専門試験」と日本代協の「保険大学校・認定保険代理士制度」を統合した「損害保険大学課程」を、2012年7月から展開しています。この制度の運営にあたり、日本代協は指定教育機関として、教育プログラムの策定・運営を行い、業界全体の募集人教育を下支えしています。

損害保険大学課程の「コンサルティングコース」は、「専門コース」で修得した損害保険に関する法律・税務等の知識を基に、より実践的な業務スキルを修得するコースで、お客さまに総合的なコンサルティングを実践できる募集人の育成を目指しています。修了・試験合格者は、損保協会認定の募集人資格の最高峰である「損害保険トータルプランナー」の称号が付与されます。

日本代協アカデミー

顧客本位の業務運営を基軸として積極的に経営努力を重ねる代協会員の自己研鑽を支える日本代協独自の教育制度として、2019年3月より展開しています。

代協会員のニーズや要望に基づき、「教育のエビデンス」も兼ねるe-ラーニングを活用した「教育コンテンツ」と、映像やセミナー等を通して「ベストプラクティスの共有」に役立つ「情報コンテンツ」を提供しています。代理店自身の年間教育・研修計画に組み入れて継続的に資質向上を図ることができる環境を提供しながら、保険代理店の世界に「学ぶ文化」を広げていくことを目指しています。

日本代協アカデミーの3つの柱

- i. 代理店経営の高度化に対応するための「組織力強化研修」メニュー
- ii. 募集人一人ひとりのレベルアップを図るための「基礎教育研修」メニュー
- iii. 収益向上のための「実践的研修」メニュー



太平洋保険学校(PIAS)の実施

業界唯一の横断的な海外研修制度であるPIASは、1979年以来、継続的に実施し、延べ770名が参加しています。米国の最新の保険動向、代理店の経営戦略や

募集人の高いプロ意識、業務レベルを肌で感じる貴重な機会として、参加者から大変好評をいただいています。

*2020・2021年度は世界的な新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ派遣を中止しました。

代協会員向けセミナー



愛媛県代協 弁護士セミナー (2020年9月12日)



三重県代協 60周年記念式典 (2020年11月27日)

日本代協、各都道府県代協は、会員向けに「経営マネジメント」や「改正保険業法への対応」等、本業に資する様々なセミナーを開催しています。また、総会や賀詞交歓会、記念式典等に保険会社等の業界関係者を招待し、交流を深めています。

日本代協コンベンション

日本代協は、「全国の代協会員が集い、語らい、高め合う場」として、また、業界関係者を含めた情報交換と経験交流を行う場として、毎年11月に代協会員手作りのコンベンションを開催しています。コンベンションでは、毎年テーマを定め、1日目に功労者表彰と代協会員懇談会並びに基調講演、2日目は基調講演を掘り下げた分野毎の分科会を開催し、代協会員が自己研鑽に励んでいます。

*2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せないことから、2021年度に延期しました。

「活力ある代理店制度等研究会」を開催



活力ある代理店制度等研究会(2021年2月25日)

保険代理業を「若く優秀な人材が生き生きと活躍することができる産業」とすることが、損害保険の普及と消費者・保険契約者の保護に一層貢献すると考え、加速する環境変化に対応し、将来展望を描ける代理店制度のあり方について検討を行うため、日本代協の特別会員である保険会社4社と、2007年度に「活力ある代理店制度等研究会(活力研)」を立ち上げ、論議を続けています。

2020年度は、7月に「ウイズコロナ時代の代理店の課題と業界対応」「関東財務局の代理店との対話を受けた今後の対応」をテーマに、2月には「代協会員からの質問事項と回答を踏まえた各社への提言と要望」「専業代理店手数料ポイント制度・認定制度の概要」「オンライン募集・テレワークに関する要望」をテーマに、識者の意見も踏まえながら論議を行いました。

保険契約者等の利益保護に資する募集の公平性の維持

日本代協は、消費者の利益保護のためにはリスク分析や商品提案・説明力、事故発生時の対応等が優れた代理店が契約者に選ばれる環境にすることが重要であると考え、募集の公平性を維持し、不公正な競争を排除する取り組みを進めています。

保険以外の他の商品との抱き合わせ販売、不当な契約乗換え等、消費者が不利益を被っている事案がないか、継続的にモニタリングを実施し、法律等の制度やルールに及ぶ問題であれば、保険会社や行政に対して情報提供を行い、改善を求めています。



業界標準化に向けた提言活動

自由化の進展により、各社の独自性が発揮されることは消費者にとって好ましいことですが、逆に、消費者にとって共通化や標準化が望ましい領域まで無用な競争を拡大させた場合には、商品やサービスの複雑化を招き、契約者の理解を妨げることにもなります。日本代協では、消費者の利便向上、業務効率化を目的に共通化・標準化が望ましいと考えられる項目を損保協会に提言しています。

【共通化・標準化を提言する検討視点】

- ① 契約者にとっての分かりやすさ、利便性の向上(トラブル・不信、無用なロードの抑制)
- ② 代理店・募集人の業務効率化(顧客対応時間の確保、生産性向上)
- ③ 保険会社のコスト削減(保険料引き上げ抑制)
- ④ 環境変化への対応(新たな共通化・標準化領域の検討)

代理店賠償「日本代協新プラン」を提供



日本代協は、保険契約者保護の観点から、資質向上、代理店経営品質向上に努める一方で、万一、契約者にご迷惑をかけた場合(保険業法第283条による賠償事案)の賠償資力が確保できるよう、代理店賠償責任保険「日本代協新プラン」を代協会員に提供しています。

2021年3月末現在 10,043店の代協会員が加入しています。

損害保険の普及に関する 啓発・宣伝活動



学校教育への取り組み

日本代協及び代協会員は、地域に根差した「リスクアドバイザー」として、また、「保険実務の専門家」として、地域の子どもたち、学生に対する学校教育に取り組んでいます。

小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

「ぼうさい探検隊」とは、損保協会が実施する「子どもたちが楽しみながら、まちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備等を見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラム」です。日本代協では、損保協会と連携し、代協会員自らマップ作成指導や普及に取り組んでいます。

また、2014年度から、マップコンクールの表彰でキッズリスクアドバイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)を提供しています。

2020年度 代協会員が指導し応募した138団体・243作品のうち、1作品がキッズリスクアドバイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)、16作品が佳作に見事入選



キッズリスクアドバイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)
(岡山市立宇野小学校 原尾島チーム: 岡山県代協)

【キッズリスクアドバイザー賞(日本損害保険代理業協会賞)】

都道府県	学校名・団体名「チーム名」	紹介代協
岡山県	岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム「岡山市立宇野小学校 原尾島チーム」	岡山県代協

【佳作】

都道府県	学校名・団体名「チーム名」	紹介代協
宮城県	FIVEブルーベリー「FIVEブルーベリー」	宮城県代協
岩手県	岩手県紫波町立水分小学校「紫波町水分地区西グループ」 岩手県盛岡市立厨川小学校 境田町子供会「境田町子供会」	岩手県代協
群馬県	上間仁田防災キッズ「上間仁田防災キッズ」	群馬県代協
三重県	有緝キッズ「有緝キッズ」	三重県代協
京都府	京都朱六キッズ「京都朱六キッズ」	京都代協
奈良県	安全見守りボーイズ「安全見守りボーイズ」	奈良県代協
和歌山県	朝日会「安全な街を作り隊」	和歌山県代協
山口県	山口県宇部市立新川小学校 新川ガールズたんけん隊「新川ガールズ探検隊」	山口県代協
長崎県	千年ファミリー「千年ファミリー」	長崎県代協
大分県	ポラリス児童クラブ「最高!!」 ポラリス児童クラブ「チームワーク4年生」	大分県代協
熊本県	熊本県八代市立代陽小学校 本町三丁目子ども会「本町3丁目なかよしくラブ」	熊本県代協
鹿児島県	鹿児島県鹿児島市立西田小学校「あったかたんけんたい」	鹿児島県代協
沖縄県	那覇市久場川児童館「ひまわりチーム」 子供の世界学童クラブ「わんぱんまんグループ」	沖縄県代協

高校生の自動車リスクへの対応

代協会員が講師となり、これから社会に出る高校3年生を中心に、自動車事故の具体事例や事故を起した場合の様々な賠償責任、自動車保険の補償内容やチェックポイント等の解説を学校授業の一つとして実施しています。

2020年度
5代協 9校 1,821名



大阪代協(2020年11月4日)



岩手県代協(2020年12月15日)



山梨県代協(2021年2月8日)

大学での保険募集関係の講座

損保協会が開講している「損害保険講座」の保険募集のパートを日本代協が担当し、日本代協役員や各代協の会長等が講義を受け持っています。

また、講師のスキルアップ・均質化を図るため「プレゼンテーションスキルアップ研修」を実施し、講師(日本代協認定講師)の育成にも努めています。

2020年度
7名(通算52名)育成

消費者団体との対話活動

日本代協、各都道府県代協は、各地域で消費者団体と定期的に懇談会を行い、消費者の声に耳を傾け、その声を会員で共有することで、代理店・募集人の資質向上を図っています。

あわせて、行政・損保協会・金融審議会等に消費者の声を伝え、より良い保険の仕組み、保険商品の提供に反映させることで、消費者の利益に貢献する活動をしています。

2020年度は、2代協で
懇談会を開催



奈良県代協(2020年9月24日)



東京代協(2020年11月11日)

お客さま向け情報誌 「みなさまの保険情報」の発行



お客さまに常に新しい情報をお届けするためのツールとして、情報誌「みなさまの保険情報」(年4回発行)を代協会員に幹渡し、現在約5万部が利用されています。

メディアを活用したPR

日本代協は、消費者の皆さまに損害保険代理店並びに損害保険トータルプランナー等の活動をご理解いただくため、メディアを活用したPRを行っています。

2021年は東日本大震災から10年となることを踏まえ、多くの消費者の方に日常生活に潜む災害リスクについて改めて考え、備えていただく契機となるよう願いを込めた動画を「日本代協2021」特設Webサイトで配信しました。

<https://nihondaikyo-pr.jp>

なお、現在日本代協YouTubeチャンネルでも番組を公開しています。

<https://www.youtube.com/channel/UCEULgRmix78mEWqug-UkBLQ>



地域社会貢献活動



地震保険の啓発・普及促進



岩手県代協 (2020年10月23日)

日本代協は、新潟県中越地震が発生した10月を「地震保険の月」と定め、「地震保険の保険金は被災時の生活再建資金となり、生活の早期安定に資する」ことを毎年全国で訴えています。



北海道代協 (2021年1月11日)

* 2020年度はコロナ禍の状況を踏まえ、会員の日常活動を通じたノベルティ配布を実施しました。

無保険車追放の取り組み



新潟県代協

交通事故が起きた場合、被害者だけでなく、加害者にも賠償責任義務による金銭的負担や精神的負担が強いられます。日本代協では、毎年9月に国土交通省と共同で、交通事故被害者の対人賠償の確保と加害者の経済的負担を補う自賠責保険の普及を目的とした「無保険車追放キャンペーン」を実施しています。

* 2020年度はコロナ禍の状況を踏まえ、地域団体・会員顧客へのノベルティ配布による啓発活動を実施しました。

自動車等の盗難対策

日本代協は、2012年度より「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム(警察庁主管)」に参画し、盗難防止対策に取り組んでいます。また、損保協会が、10月7日「トーン(盗難)防止の日」に盗難多発地域で行っている街頭啓発活動を該当地域の代協が協力しています。

社会貢献活動



富山県代協
医療機関へのレインコート寄付
(2020年4月20日)



愛知県代協
マスク寄付
(2020年9月8日)



鳥取県代協
車椅子・ベビーカー寄贈
(2020年10月9日)



岡山県代協
車椅子寄贈
(2020年12月15日)

各種ボランティアや地域に密着した継続的な活動を通じて、地域社会への貢献に取り組んでいます。

→ 2020年度は32代協で計93回の活動

また、消費者に関心の高いテーマを選び、全国各地で公開講座を開催しています。

→ 2020年度は2代協・3ブロックで計5回の公開講座を開催し、1,097名が参加

献血



佐賀県代協
献血活動
(2020年8月)



福井県代協
献血活動
(2020年11月10日)



神奈川県代協
献血活動
(2020年11月17日)



鹿児島県代協
献血活動
(2021年2月10日)

公開講座



西中国ブロック
「介護費用の負担、どうなるの？」
(2020年10月31日)



京都代協
「心をつかむ！誰からも好かれる話し方」
(2020年11月5日)

交通安全



北海道代協
交通安全「旗の波」(2020年7月3日)

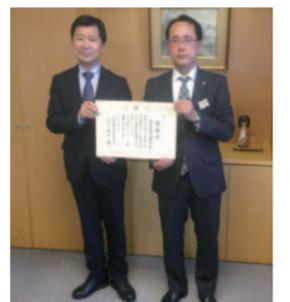
「子ども110番の保険代理店」の全国展開



「子ども110番の保険代理店」ステッカー

日本代協と全国47都道府県代協は、助けを求めてきた子どもを保護し、学校・警察等へ連絡する地域ぐるみで子どもを守るボランティア活動を展開しています。

代協会員が警察・地域住民・学校関係者等と相互に連携し、地域のリスクアドバイザーとして、「子どもたちが安全に暮らせる環境づくり」をより一層、支えていきたいと考えています。



群馬県代協
県警からの感謝状授与式
(2021年1月29日)